

令和4年度秋津小学校 学校評価表

学校教育目標		「友だち大好き 運動大好き 勉強大好き」～内から育つ自己解決力の獲得をめざして～								
本年度重点目標		「自他を大切に、主体的に取り組む子の育成」～聴こう・考えよう・話し合おう～								
領域	中項目	小項目	具体的評価項目	取組(指標)	小項目の評価	中項目の評価	成果	課題	改善方策など	学校関係者評価
I 教育活動に関するもの	(2)教科指導	③指導方法の工夫改善	児童にとってわかりやすい授業になるようICTの活用など、指導方法の改善に努める。	ICT活用能力の向上に取り組む。学びあいや主体生を培う授業改善に取り組む。	4	4	ICTを活用し、オンライン配信や持ち帰り学習等でも活用することができた。	ICT教育について、ICT支援員も活用しながら、指導力も向上している。	実施したICT教育を職員間で共有する。各学年において指導計画を立てる。	
	(5)人権教育	③指導方法の工夫改善	命の大切さを知り、たくましく生きる力と生命を尊重する心を育む指導方法の工夫改善を図る。	校内人権教育推進計画に基づき、丁寧な取組を行う。	4	4	人権教員が各学級を訪ね、個別に話しを聞いたり、Q-Uテスト実施したりして、発達段階に応じた指導を行った。	実際に顔を見て表情等から気持ちを伝え感じとれる機会をもちたい。	SC、SSWとも連携をとり、一人一人との関わりを深めていきたい。	
	(8)特別支援教育	①組織的な特別支援教育	校内委員会を通して組織的な支援体制を構築する。	配慮を要する児童についての共通理解のもと支援にあたる。	4	4	校内委員会やケース会議、職員研修等、児童の実態把握を行った。	全教職員で共通理解のもと指導をすすめていく体制を確立する。	組織的に確認・連携できるような体制づくりを見直す。	
II 学校運営に関するもの	(3)安全管理	④安全指導の工夫改善	登下校おける安全確保に努める。	地域と連携し協力を得る。教師による定期的な児童の引率を実施、指導を行う。	4	4	蛇穴見守り隊や秋津防犯協会に定期的に登下校時の見守りの協力をいただいた。	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、全校一斉下校会を実施できず、全校一斉指導がやりにくかった。	普段の学校生活でしっかりと指導し、自ら安全確保ができるよう教職員間で共通理解を行う。	
	(4)保健管理	③健康観察、健康管理能力の育成	新型コロナウイルス感染症への感染予防を徹底する。	市のガイドラインに準じた対応を臨機応変に実施する。	4	4	手洗いの励行など感染予防の指導を徹底し、生活様式が意識づけられてきた。	異学年交流がなかなかできず、今後どのような活動ができるか検討が必要である。	感染予防をしながらできる限り子どもたちがコミュニケーションをとれるようにしていきたい。	
	(5)地域との連携	①学校情報の発信	学校だより・学年だより・HP等を通して、教育方針や学校の様子をわかりやすく伝える。	学校HPの更新。各種団体組織との連携。	4	4	感染予防を行いながら、授業参観や学校行事を行い、学年だよりやHPにおいても子どもたちの学習の様子を配信した。	感染予防をしながらできるかぎりの学校行事等を行ったが、地域との連携において、子どもたちとの関わりが少ない。	感染予防をしながらできる限り子どもたちと地域の方々がコミュニケーションをとれるよう体制を整えたい。	
	(6)施設・設備	③施設設備の管理	安全点検を通し、安全安心な学校づくりをする。	定期的な安全点検。課題の早期解決。	4	4	定期的に安全点検を行い、修繕できる箇所は修繕し、市教委とも連携し修繕管理を行った。	校舎の老朽化により改善が難しい箇所が何力所がある。	市教委と連携し、予算要求を行いながら、専門業者の点検等を計画的に行う。	